

# ブルックフィールド粘度計

粘度測定の世界標準



## 概要

ブルックフィールドの回転粘度計は、B型粘度計として知られ、世界中で標準機として使用されています。簡易計測モデルからレオロジー評価が可能な高機能モデルまで3機種をラインナップしています。高機能モデルでは、粘度測定の精度を上げたり再現性の向上に役立つステップ測定、平均値測定などの機能を搭載しています。また、プログラム測定や、ソフトウェア対応、データインテグリティ対応など、多様な場面で使用できるモデルになっています。さらに、多彩なオプションから測定試料に合わせたスピンドルを選択できます。校正や修理サービスはトレーニングを受けたサービスマンが担当しており、日本国内で対応可能ですので、安心してお任せください。

## 特徴



1934年から世界中で広く標準機として使用されるブルックフィールド製



タッチパネルや多彩な測定モードでより使いやすく



サンプルの性質によって多彩なオプションから最適なスピンドルを選択



測定コンサルティングから、修理、校正まで安心のサポート体制

## B型粘度計

アメリカのボストンにあるブルックフィールド社が、1934年にアナログ式ブルックフィールド型粘度計いわゆるB型粘度計を開発しました。当時、簡単に精度良く粘度を測定できる装置は他ではなく、B型粘度計は、装置の使いやすさや汎用性から世界中の幅広い分野で使用されるようになります。ISO、ASTM、DIN、JISといった数多くの規格でB型粘度計が粘度計の標準機として採用されています。時代と共にB型粘度計は多機能となりましたが、粘度計測の要である回転数、スピンドル形状、トルクセンサーは変わることなく各機種に受け継がれ、どの年代の、どの機種を用いてもB型粘度計であれば互換性の高いデータを得ることができます。

## サンプルの性質よって最適なスピンドルを選択

実際の測定においては、測定対象によって、サンプル容器、サンプル量、温度コントロールなど様々な測定上の制限や要求があります。ブルックフィールド型粘度計は、これらの要求を満たすための測定オプションを多数用意しております。例えば、少量サンプルアダプターはサンプル量2~16mLの少量で、かつ適切なスピンドル、トルクタイプを選択することで、ドリンクのような低粘度液体から電子材料ペーストのような高粘度液体まで幅広く対応可能です。

## 特徴・機能

 標準スピンドル	<b>標準スピンドル</b> LVモデルは4本、RV/HBモデルは6本の標準スピンドルが付属します
 少量サンプルアダプター	少ないサンプル量で計測できるアダプターを選択できます
 UL低粘度アダプター	極低粘度のサンプルを計測可能なアダプターを選択できます
 コーンプレート型システム	コーンスピンドルを使用した測定システムを選択できます (工場出荷オプション) (DVNextのみ)

 タイマー機能	粘度を計測する時間を決めて測定を行う事ができます
 プログラム機能	回転数を変更するなどプログラムを作成し、実行することができます
 降伏応力計測	羽根型スピンドルと組み合わせて降伏応力を計測できます
 ソフトウェア対応	プログラム測定、グラフ描画、データ管理を可能にするソフトウェアを使用できます

## より使いやすく、高機能に

B型粘度計は、機能の異なるいくつかのモデルがあり、お客様の用途に合わせて最適なモデルを選択することができます。最新のDVPlus、DV2Plus、DVNextはタッチパネルを搭載し、操作性やデータの視認性が大きく向上しました。また、タイマー機能やソフトウェア制御による多彩な測定モードでの計測が可能となり、より高度な品質管理や研究開発においてもご満足いただける機能を備えています。

## 安心のサポート体制

英弘精機では、使用法や条件設定、アプリケーションなどの技術サポート、修理、校正といったサービス、各種セミナーやコンサルティングなどを実施し、様々な面からお客様をサポートいたします。また、海外でブルックフィールド型粘度計をお使いいただく際は、ブルックフィールドの現地代理店が、修理、校正を担当いたしますので、世界中どこでも安心してお使いいただくことができます。加えて英弘精機では、2013年5月に回転粘度計の試験および校正を実施する業務においてISO/IEC17025を国内で唯一取得いたしました。

 サンプル温度表示	粘度測定と同時にサンプル温度を画面に表示します 温度プローブが必要です
 日本語表示	粘度計本体の液晶画面で、複数の言語から日本語を選択できます
 データ保存	内部メモリを搭載し、さらに外部USBメモリに測定プログラム、測定結果を保存できます
 測定結果印刷	専用プリンターを接続し、測定結果を直接印刷できます

 制御回転数	0.1~200 0.5~100 rp m 回転数
 JIS準拠	JIS Z8803に準拠した粘度測定を行う事ができます
 測定精度	1% 測定精度
 データインテグリティへの対応	ログイン機能、監査証跡、データのバックアップ/リストアなどの機能を使用することができます

## ラインナップ

### DVPlus デジタル粘度計

- ・ DV1M の後継品。 DV1M と比較し、回転数、切替段数が大幅に拡大。
- ・ 液晶ディスプレイに、粘度、トルク、スピンドル、回転数を同時に表示。
- ・ 温度プローブ(オプション)を追加すれば、サンプル温度を計測しながらの粘度測定が可能。
- ・ DVPlus Connect App(オプション)を使用すれば、PCにてデータ保存が可能。接続はUSBまたはBluetoothの選択が可能。



### DV2Plus デジタル粘度計

- ・ 操作性、視認性の高い大型タッチパネルを採用。
- ・ 装置単体での2ステッププログラムが作成可能。
- ・ 温度プローブ(オプション)を追加すれば、サンプル温度を計測しながらの粘度測定が可能。
- ・ 測定条件、測定結果を内蔵メモリーやUSBメモリーに保存可能。
- ・ オプションのソフトウェアを使用すれば、回転数変更などプログラム測定を行うことが可能。フローカーブや緩和測定、温度依存測定など高度な測定、解析を実施可能。



### DVNext デジタル粘度計

- ・ DV2Plus の機能をすべて網羅。
- ・ 装置単体で回転数を変えるなどプログラム測定が可能。
- ・ 測定結果はリアルタイムでグラフ表示。
- ・ 降伏応力、緩和測定により、サンプルの微細構造による特性を評価することが可能。
- ・ 通常モデルのスタンダードバージョンと 21CFR Part11 準拠 /LIMS 対応のコンプライアンスバージョンから選択。



## トルクモデルの選択

ブルックフィールド型粘度計では、計測する粘度に合わせて4つのトルクモデルから選択することができます。トルクモデルはそれぞれ低粘度用のLV、中粘度用のRV、高粘度用のHA、超高粘度用のHBという型番が付与されます。機種選定の際には、機種とトルクモデルをそれぞれ選定することになります。



## 仕様

機種	品名	最小粘度 (mPa·s)	最大粘度 (mPa·s)	回転数 (rpm)	切替段数
DVPlus	LVDVPlus	1*	6M	0.1~200	740段階
	RVDVPlus	100*	40M		
	HADVPlus	200*	80M		
	HBDVPlus	800*	320M		
DV2Plus	LVDV2Plus	1*	6M	0.1~200	740段階
	RVDV2Plus	100*	40M		
	HADV2Plus	200*	80M		
	HBDV2Plus	800*	320M		
DVNext	LVDVNext	1*	6M	0.01~250	2600段階
	RVDVNext	100*	40M		
	HADVNext	200*	80M		
	HBDVNext	800*	320M		

M: 1,000,000 K: 1,000

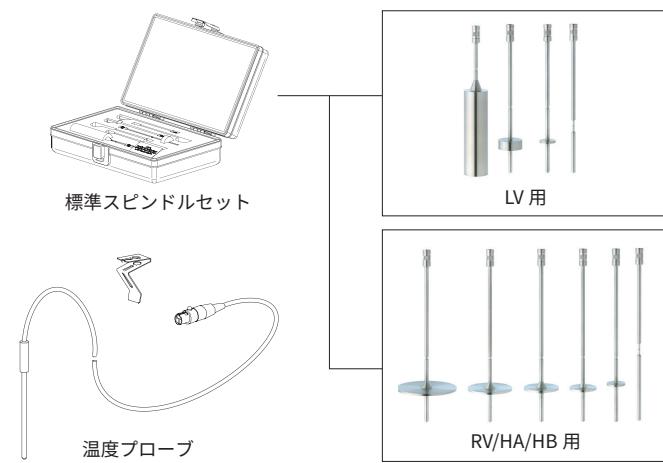
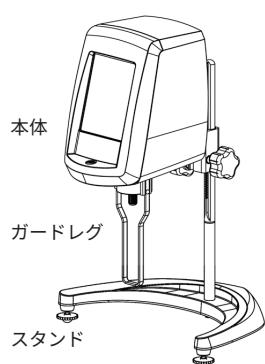
\* 1 mPa·s 程度の粘度を計測するためには、UL 低粘度アダプターが必要です。オプション非使用時は 15 mPa·s ～となります。

\*\* オプションの低粘度スピンドル (RV/HV-1) が必要です。

注) 測定条件やサンプルによっては上記の値を満たせない場合があります。各回転数における計測可能粘度範囲は、仕様書をご参照ください。

## 付属品

- 粘度計本体
- 標準スピンドルセット (LV用またはRV/HA/HB用)
- ガードレグ (LV/RVのみ)
- 温度プローブ (DVNext)
- スタンド
- 電源ケーブル
- キャリーケース



## コーンプレート型システム



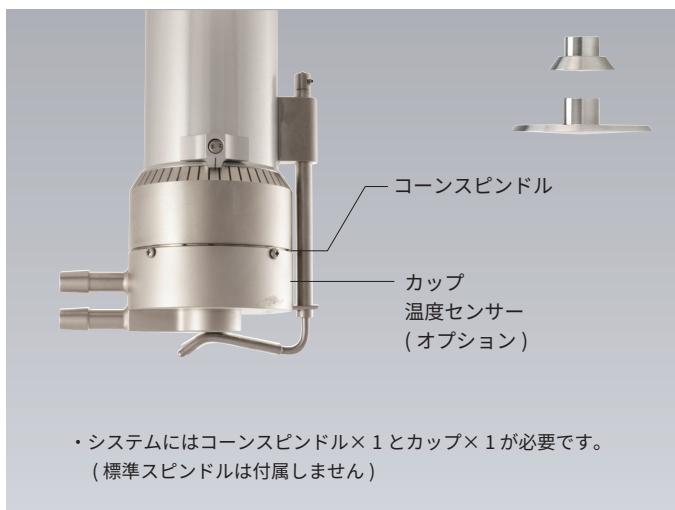
工場オプション

対応機種

DVNext

デジタル粘度計 DVNext と機能は同等ながら、コーンプレートスピンドルを取り付けての測定が可能です。

- ・ 少量のサンプル、また比較的高せん断域での粘度を測定することができます。
- ・ サンプルカップに温度計を取り付け、サンプルの温度を計測することができます。(オプション)
- ・ 温度範囲 : +5°C ~ +80°C



コーンスピンドル  
カップ  
温度センサー  
(オプション)

- ・ システムにはコーンスピンドル×1とカップ×1が必要です。  
(標準スピンドルは付属しません)

### ギャップ調整

コーンプレート型では測定前にコーンスピンドルと、サンプルカップ間のギャップを設定する必要があります。このギャップ設定が測定精度に影響します。

ギャップ調整システムにより、容易に適切なギャップに設定することができます。

注) 温度変更時にはギャップの再調整が必要となります

### 仕様

コーンスピンドル	CPA-40Z	CPA-41Z	CPA-42Z	CPA-51Z	CPA-52Z	
サンプル量 (mL)	0.5	2.0	1.0	0.5	0.5	
せん断速度 * (1/s)	7.5 N	2.0 N	3.84 N	3.84 N	2.0 N	
コーン半径 (cm)	2.4	2.4	2.4	1.2	1.2	
コーン角度 (°)	0.8	3	1.565	1.565	3	
粘度範囲 (mPa·s)	LVDVNextCP RVDVNextCP HADVNextCP HBDVNextCP	0.1 ~ 3K 1~32K 2.6~65K 10.5~261K	0.5~11K 5~122K 10~245K 39~982K	0.2~6K 2~64K 5~128K 20~512K	2~48K 20~512K 41~1M 163~4M	3~92K 39~983K 78~2M 314~7.8M

M: 1,000,000 K: 1,000

\* せん断速度は回転数から算出します。例えば CPA-40Z を使用し、回転数 10 rpm で測定した場合、せん断速度は  $7.5 \times 10 = 75$  (1/s) になります。

注) 測定条件やサンプルによっては上記の値を満たせない場合があります。各回転数における計測可能粘度範囲は、仕様書をご参照ください。

## 少量サンプルアダプター



対応機種 DVPlus DV2Plus DVNext

少量サンプルアダプターは、スピンドルとそれに対応するチャンバーで構成されており、2～16 mL のサンプル量で粘度を測定することができます。

- 測定部は、循環恒温水槽を使用して温調可能です。  
温度範囲 +1°C～+100°C
- 粘度やサンプルの性質に合わせて 11 種類のスピンドルから選択可能です。



### 付属品

#### 標準構成

- ウォータージャケット
- 位置決め治具
- スピンドル (1 個)
- チャンバー (1 個)

#### オプション

- RTD 温度センサーケーブル
- SC4-13RD ディスポートサブル サンプルチャンバー (アルミ製)
- SC4-27D ディスポートサブル スピンドル (アルミ製)

### 仕様

スピンドル ***	SC4-18	SC4-27	SC4-29	SC4-14	SC4-25Z
サンプルチャンバー	SC4-13R(P)	SC4-13R(P)	SC4-13R(P)	SC4-6R(P)	SC4-13R(P)
サンプル量 (mL)	6.7	10.4	13.5	2.1	16.1
せん断速度 * (1/s)	1.32 N	0.34 N	0.25 N	0.40 N	0.22 N
(mPa·s)	LVDV2Plus **	1.5～30K	11～234K	47～937K	58～1.1M
	RVDV2Plus **	16～320K	125～2.5M	500～10M	625～12.5M
	HADV2Plus **	32～640K	250～5M	1K～20M	1.25K～25M
	HBDV2Plus **	128～2.5M	1K～20M	4K～80M	5K～100M

M: 1,000,000 K: 1,000

\* せん断速度は回転数から算出します。例えば SC4-18 を使用し、回転数 10 rpm で測定した場合、せん断速度は  $1.32 \times 10 = 13.2$  (1/s) になります。

\*\* DVPlus, DVNext の測定粘度範囲は仕様書をご確認ください。

\*\*\* スピンドルの種類は SC4-14,15,16,18,21,252,27,28,29,31,34 からご選択頂けます。上記表以外のスピンドル仕様については仕様書をご覧ください。

注) 測定条件やサンプルによっては上記の値を満たせない場合があります。

## UL 低粘度アダプター



対応機種 DVPlus DV2Plus DVNext

UL 低粘度アダプターは、スピンドルと円筒形サンプルチャンバーで構成され、低粘度サンプルを精度よく測定することができます。

- ・LV タイプ粘度計 60 rpm で 1 ~ 10 mPa·s の粘度が測定可能です。
- ・サンプルチャンバーは、循環恒温水槽を使用して温調可能です。
- ・温度範囲 オープン型 : +1°C ~ +65°C、クローズ型 : +1°C ~ +100°C

### 標準構成

- ・位置決め治具
- ・サンプルチャンバー
- ・チューブエンドキャップ(6個)
- ・スピンドル
- ・ウォータージャケット
- ・固定治具
- ・クローズドチャンバー(オプション)

仕様 (UL 低粘度アダプターを DV2Plus の各トルクモデルで使用した場合)

機種	LVDV2Plus	RVDV2Plus	HADV2Plus	HBDV2Plus
粘度範囲 (mPa·s) *	1.0 ~ 2K	3.0 ~ 2K	6.0 ~ 2K	24.0 ~ 2K

K:1,000

\* DVPlus, DVNext の測定粘度範囲は仕様書をご確認ください。

UL 低粘度アダプターのせん断速度係数は 1.224N です。1.224 × rpm からせん断速度を求められます。注)サンプル量は 16 mL です。

注)測定条件やサンプルによっては上記の値を満たせない場合があります。

## サーモセル



対応機種 DVPlus DV2Plus DVNext

電気ヒーターにより、試料を 300°C まで昇温可能です。ホットメルト、アスファルト、ワックス、ポリマーの測定に有効です。

- ・温度範囲 : +40°C ~ +300°C
- ・使い捨てチャンバーとスピンドルを使用することにより、熱硬化サンプルなど、清掃が困難な試料の測定が可能です。

### 標準構成

- ・スピンドル 1 本
- ・サンプルチャンバー 1 個
- ・位置決め治具
- ・電気ヒーターコンテナ
- ・断熱キャップ
- ・18 インチ シャフト
- ・温度コントローラー (RTD プローブ付き)
- ・HT-2DB ディスポーザブルチャンバー 5 個
- ・SC4-27D ディスポーザブルスピンドル(オプション)

## 仕様

スピンドル ***	SC4-18	SC4-21	SC4-27	SC4-28	SC4-29
サンプル量 (mL)	8	8	10.5	11.5	13
せん断速度 (1/s) *	1.32 N	0.93 N	0.34 N	0.28 N	0.25 N
粘度範囲 (mPa·s) **	LVDV2Plus **	1.5 ~ 30K	2.3 ~ 46K	11 ~ 234K	24 ~ 468K
	RVDV2Plus **	16 ~ 320K	25 ~ 500K	125 ~ 2.5M	250 ~ 5M
	HADV2Plus **	32 ~ 640K	50 ~ 1M	250 ~ 5M	500 ~ 10M
	HBDV2Plus **	128 ~ 2.5M	200 ~ 4M	1K ~ 20M	1K ~ 20M

M: 1,000,000 K:1,000

\* せん断速度は回転数から算出します。例えば SC4-18 を使用し、回転数 10 rpm で測定した場合、せん断速度は  $1.32 \times 10 = 13.2$  (1/s) になります。

\*\* DVPlus, DVNext の測定粘度範囲は仕様書をご確認ください。

\*\*\* スピンドルの種類 SC4-18,21,27,28,29,31,34 からご選択頂けます。上記表に記載されていないスピンドルの粘度範囲は仕様書をご確認ください。

注)測定条件やサンプルによっては上記の値を満たせない場合があります。

## ヘリパススタンド

推薦機種 DVPlus DV2Plus DVNext

クリーム、ゼラチンなどの半固形状サンプルに適したスピンドルです。Tバースピンドルは回転しながら上下方向に移動し、粘度を測定します。



## 羽根型スピンドル

推薦機種 DVNext

DVNextと組み合わせてゲル状サンプルの降伏応力を測定することができます。



## ゲルタイマー

推薦機種 DV2Plus DVNext

樹脂の硬化（ゲル化）時間を測定するガラス棒のスピンドルです。マグネットカップリングにより、取り外しが容易にできます。



## Q-Lab スタンド

対応機種 DVPlus DV2Plus DVNext

粘度計の上下移動を容易におこなうことができます。



## マグネットカップリングシステム

工場オプション

対応機種

DVPlus DV2Plus DVNext

スピンドルをワンタッチで取り付けることができます。工場出荷オプションです。コーンプレートモデルでは選択できません。



## ボールベアリング

工場オプション

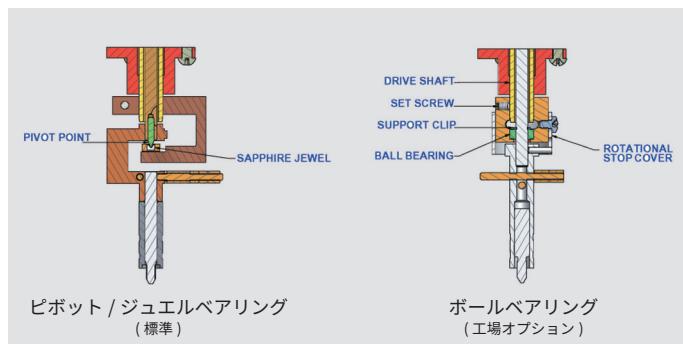
対応機種

DVPlus DV2Plus DVNext

耐久性の高いボールベアリング機構を選択できます。

HAモデルのみ選択できます。工場出荷オプションです。

HBモデルは ボールベアリング仕様です。



## ソフトウェア

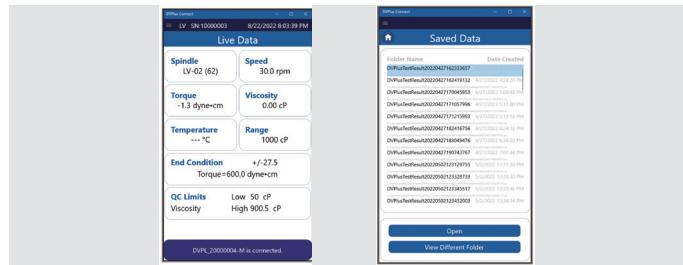
プログラム測定やデータの管理を行うためのソフトウェアです。

## DVPlus Connect App

## 対応機種

DVPlus

DVPlus 用データ取り込み用ソフトウェアです。測定データのモニタリング、保存、PC からの印刷が可能です。USB 接続、Bluetooth 接続が可能です。

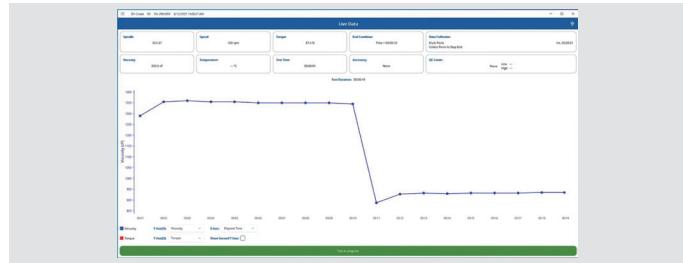


## DV Create

## 対応機種

DV2Plus

DV2Plus 用のプログラム作成ソフトウェアです。25 ステップを上限に回転数変更や時間設定など測定プログラムを作成できます。PC 上で作成したプログラムを、USB メモリまたは Bluetooth 経由で粘度計本体にアップロードし、実行することができます。また、PC 上でのリアルタイムでのグラフ表示やデータ取り込みも可能です。

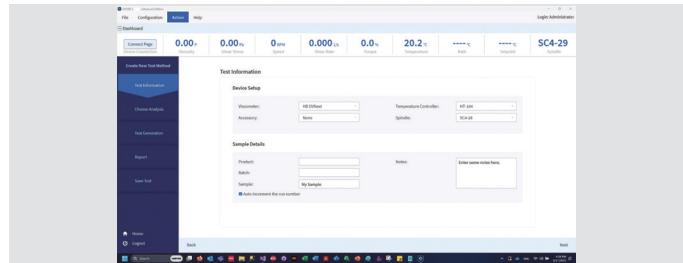


DV 360

## 対応機種

DV2Plus

DV2Plus および DVNext 用の、プログラム測定ソフトウェアです。測定プログラムの作成から実行、解析まで PC 上で行なうことが可能で、測定プログラムを実行すると、リアルタイムでグラフを作成します。アドバンスエディションではログイン機能、セキュリティレベル、監査証跡などの機能が追加される他、最大 4 台まで粘度計を同時制御可能です。



ソフトウェア		DVPlus Connect App	DV Create	DV 360
対応機種		DVPlus	DV2Plus	DV2Plus、DVNext
機能	プログラムの作成	×	○ (25ステップまで)	○
	粘度計の制御	×	×	○
	PCへのデータへの取り込み	○	○	○
	グラフ描画、データ保存、CSV出力	△ (グラフ描画のみ不可)	○	○
	近似モデル解析	×	×	○
計測方法	一定速度の経時変化	×	○	○
	フローカーブ	×	○ (25ステップまで)	○

## データインテグリティへの対応について

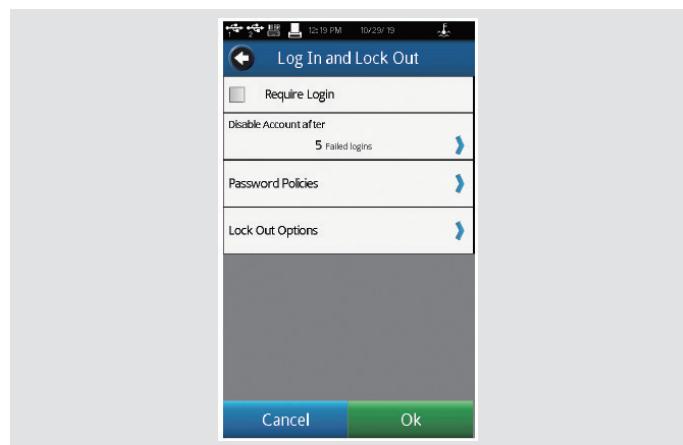
データインテグリティに対応するため、ブラックフィールド粘度計では DVNext 単体、もしくはソフトウェアとの組み合わせを推奨しています。

対応機種 LIMS : DVNext コンプライアンスバージョン  
Part 11 : DV360 ソフトウェア アドバンスエディション  
DVNext コンプライアンスバージョン

## データ管理機能一例

- ・ユーザーログイン
  - ・ユーザーアクセス制限
  - ・データの完全性
  - ・電子署名
  - ・監査証跡

詳細につきましてはお問い合わせください。



## KU-3 デジタルストーマー粘度計

デジタル式のストーマー粘度計です。JIS K5660-2-2、ASTMD-562 ISO2431 に対応しており、塗料の粘度評価に最適です。計測データは、KU、cP、g 表示が可能です。

### 標準構成

- KU-3 本体 (精度± 1%、再現性± 0.5% 回転数 200rpm)
- Krebs スピンドル
- ペイント、ハーフペイント缶用アダプタ



## CAP2000+ ハイシアコーンプレート粘度計

高せん断用コーンプレート粘度計です。インク、ペイントなどの印刷特性、化粧品などの塗布性評価、品質管理に最適です。Capcalc ソフトウェア（オプション）を使用すれば、フローカーブなどプログラム測定が可能です。サンプル粘度に合わせて、スピンドルを選択いただけます。

ペルチェ式温調システムを内蔵

- L シリーズ (5 ~ 75°C)
- H シリーズ (50 ~ 235°C)

サンプル粘度に合わせてトルクタイプを選択できます

- 低トルクタイプ (20 ~ 66000 mPa·s)
- 高トルクタイプ (20 ~ 1.5M mPa·s)

注) 測定可能な粘度範囲は、選択するスピンドルにより異なります。



## 温度コントロール用 循環恒温水槽

ジャケット式のオプション（少量サンプルアダプター、UL 低粘度アダプター、コーンプレート型）に接続してご使用頂ける TC-550 シリーズがございます。

- 使用温度範囲は粘度計オプションの仕様に準拠します。



## 粘度標準液

信頼性のあるデータを安定的に取得するためには、定期的に粘度標準液を測定して点検されることをお勧めします。

### ブルックフィールド粘度標準液

ブルックフィールドの粘度標準液は、温度安定性に優れた無毒性のシリコン標準液と、ミネラルオイル標準液から選択できます。25°Cでの校正に使用できます。精度は、標準液容器ラベルに記載されている粘度値の±1%で、いずれもNISTトレーサブルです。



### JIS 粘度標準液

JIS粘度標準液はJIS Z 8809「粘度計校正用標準液」に規定された方法で20～40°Cを0.1°C毎に粘度を算出しており、一覧表が添付されます。様々な温度で校正される場合に適しています。



### 標準液一覧

汎用シリコン	サーモセル用	汎用ミネラルオイル	JIS
5	HT-30000	B29	JS2.5
10	HT-60000	B200	JS5
50	HT-100000	B400	JS10
100		B600	JS20
500		B1060	JS50
1000		B2000	JS100
5000 *		B10200	JS200
12500 *		B21000	JS500
30000 *		B73000	JS1000
60000 *		B200000	JS2000
100000 *(cP)		B360000	JS14000 JS52000 JS160000
25°Cの粘度値が付与されています	25°C, 93.3°C, 149°Cの粘度値が付与されています	25°Cの粘度値が付与されています	それぞれ20～40°C時の粘度値が付与されています (JS160000は20～25°C)

\* 汎用シリコン粘度標準液 5000cP以上は、コーンプレート型粘度計に適さないため汎用ミネラルオイル、もしくはJIS粘度標準液をご使用ください。

・上記以製品外に特注粘度、特注温度の粘度標準液もございます。

注) 標準液と粘度計、スピンドルの組み合わせ、測定条件によっては、適切に計測できない場合があります。

### 粘度計の校正について

計測機器を長期間使用すると、様々な理由により徐々に計測値にずれが生じてしまいます。このずれを定期的に確認するための校正作業を行なう必要があります。校正された計測機器を使用することで、日々の計測値が正しいことを保証することになります。

B型粘度計の場合、年に1回のメーカー校正を推奨しています。英弘精機では、メーカーでトレーニングを受けた専任の技術者が精度の高い校正を実施致します。

また、ユーザー様自身で社内校正を行う事で、得られた粘度値の信頼性の向上や、故障の早期発見につながります。粘度計の校正には上記粘度標準液を使用します。

## 関連製品

### 精密回転粘度計 RSXシリーズ

RSXシリーズは幅広いトルク範囲と回転数範囲を持った回転粘度計です。応力制御モーターにより、粘度測定に加えて降伏応力測定が実施可能です。

- 粘度フローカーブ測定
- ヒステリシスループ測定
- 降伏応力測定
- 分散性、凝集性の評価



### 粘度・粘弾性評価装置 HAAKE MARS40/60

粘度測定だけでなく、動的粘弾性測定ができるレオメーターです。

動的粘弾性のモードはひずみ／応力依存測定、周波数依存測定、温度依存測定など、液体から半固体状の物質の液体的な特性、固体的な特性を評価できます。



## 修理校正

装置を安心してお使いいただけるように、修理、校正対応いたします。

### お問い合わせ例

正しい使用法、日常点検法、校正方法、お見積り、装置の発送方法など。

### 修理

専任のサービスマンが、迅速・確実にお客様の装置を修理・調整します。

### 校正

- JISに準拠した校正方法により、お客様の装置の精度を保証します。

- 校正証明書、試験成績書、トレーサビリティ証明書を発行します。

- 弊社では JCSS 校正に匹敵する ISO/IEC17025 を取得しています。

B型粘度計の校正においては、国内唯一の認定機関です。

### IQOQ

適切なインストールと動作を評価します。

カスタマーサポートセンター

TEL 03-3469-5908

## 測定・デモ・受託分析・セミナー

### お問い合わせ例

操作方法、測定条件設定、装置・スピンドル選定、データ解析法など。

### サンプル測定、デモ

実測した結果から、お客様に適した機種・オプション選定、条件設定をご提案します。

### セミナー・ワークショップ

製品をより有効にご活用いただけるよう随時開催しております。

## QR

QRコードより、製品の情報やオプション、アプリケーションなど様々な情報にアクセスできます。また、お見積りやお問い合わせいただくことも可能です。



ブラックフィールド粘度計



テクニカルラボ

TEL 03-3469-4516

## EKO取扱製品

液体物性の測定を中心に多彩な装置群を取り揃えております。  
様々なアプリケーションに対して、幅広い製品とサービスをご提案しておりますので、お気軽にご相談ください。



接触角・  
動的接触角



レオメーター



溶液安定性



水分計

## 英弘精機株式会社

物性・分析機器事業部

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-21-8

TEL 03-3469-6715

FAX 03-3469-6719

関西営業所

〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-4-9

TEL 06-6226-8230

FAX 06-6226-8229

eko.co.jp